

第 3 - 5 - 7 表 石見銀山歴史略年表

西暦年	
1526	博多の商人・神屋寿禎が石見銀山発見
1602	年間15トンの銀を算出
1624	銀産出量が減少し始める
1941	銅の再算出を試みる
1943	水害により閉山
1967	県指定史跡となる
1987	大森、銀山の町並みが国の重要伝統的建造物群保存地区に選定
2001	世界遺産暫定リストに搭載（4月）
2005	関係省庁連絡会議で、政府が世界遺産登録に推薦決定（9月）
2006	国際連合教育科学文化機関（ユネスコ）が国の推薦書を正式受理（1月）
2006	ユネスコの諮問機関「国際記念物遺跡会議（ICOMOS）」が現地調査（10月）
2007	ICOMOSが「登録延期」と勧告（5月）
2007	ニュージーランドでの世界遺産委員会で登録決定（6月）

（備考）島根県公表資料、新聞により作成。